




平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

大牟田市立天領小学校

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	大牟田市立天領小学校 第4学年（2クラス） 65名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体育科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	2020年東京オリンピックで正式種目となった3×3バスケットボールに類似したハーフバスケットに取り組むことで、「スポーツを楽しむ心」の育成につなげる。
5 取組内容	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">    </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>児童が意欲的に活動できるように、「天領オリンピック」を最後の時間に位置付けることで、みんなが活躍できる「天領オリンピック」にしようと、チームの課題やルールの見直しを行い、チームの課題や試合の条件（人数・得点の仕方）を選びながら試合を行い、ルールの見直しをした。このように天領オリンピックへ向けて、学級全員でルールづくりを行った。</p> <p>また、児童の動きが高まるように、1時間の中で2回ゲームを設定した。ゲームⅠでは、①自分のチームの作戦がうまくいっているか②ボールを持っていない人がどのように動いているかという観点を設定した。その観点をもとに、チームの課題について作戦ボードを用いて話し合い、ゲームⅡを行った。</p> <p>単元の最後には、相手チームの頑張りを認めたり、仲間と協力できた喜びを実感できたりするように、表彰式を設定した。</p> </div> </div>

<p>6 主な成果</p>	<p>○ オリンピックの教材化 単元の1時間目に、プロバスケットボール選手のプレーを映像で見せることで、2020年東京オリンピックより正式種目となった3×3バスケットボールへの興味・関心を高め、バスケットボールに親しみを持たせることができた。 4年生の両クラスで継続した取組を行うことで、前時の課題を生かしながら、児童の意欲面も活動量も伸ばしていくことができた。また、通常の体育科学習の中に「天領オリンピック」を位置付けることで、誰にでも取り組みやすいオリンピック・パラリンピックの教材になるとともに、「できるようになりたい。」という児童の意欲も高めていくことができた。</p> <p>○ 児童の様子から チームプレーであるバスケットボールを経験することで、オリンピックの精神である友情・連帯・フェアプレーを実感し、チームの仲間とハイタッチをしたり、相手チームのよいところを褒めたりする姿がどのチームも見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>2020年東京オリンピックの正式種目となった3×3バスケットボールへの興味・関心を持たせるため、単元の1時間目にプロバスケットボール選手のプレーを映像で見せた。 また、単元名を「チームの良さをいかして目指せ金メダル！天領オリンピック」とし、各チームに必ず「話し合い金メダル」「粘り強さ金メダル」「最多勝金メダル」等の頑張りに金メダルを渡すことで、児童の意欲を引き出すようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>プロバスケット選手の俊敏で迫力のある動きに興味・関心は持つことができたが、その選手の動きと子どもの動きをよりスムーズに結びつけることが必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピックだけでなく、パラリンピックの車いすバスケットボールにも興味・関心を広げることで、オリンピックとパラリンピックをつなげることを目指す。</p>